

学力向上に効果のある取組事例

大分大学教育学部附属小学校

⑰校内研修などによる授業改善

取組の具体

1 全ての授業の土台となる学級経営の徹底

○学級に受容的な雰囲気や聴き合う風土が構築され、児童が安心して授業に臨めるよう学級経営（フリートーク、ほめ言葉のシャワー、価値語、成長ノート）を校内研修に位置づけ学校全体で取り組んでいる。

2 学級経営の土台の上に、組織的な授業改善の取組を構築する

- 学校全体で取り組む学級経営四つの取組を土台に、校内研修ともリンクさせながら授業研究を行っている。校内研修では、年間7回の授業研究会の後に事後研を行ったり、年間5回程度の外国語と総合的な学習の時間のスキルアップ研修やICT活用研修を行ったりして教員全体の指導力向上につなげている。
- 新大分スタンダードの要素を含めた「授業観察シート」を用いながら、年間一人最低2回、指導教諭等による授業観察を行い、その都度指導（事後研）を行っている。また、授業の結果を数値化し、目標管理シートにも反映している。
- 校内研究にチーム研（3グループ）を設定し、ファシリテーターを中心に、研究テーマの「自己調整学習」に合わせて、年間を通して互見授業や実践交流等を行い、授業改善につなげる。

3 資質・能力の育成をめざし、文部科学省や大分県教育委員会の指導をふまえた授業改善を進める

- 学習指導要領に基づき、付けたい力（資質・能力）を明確にした授業を日常的に行っている。
- 県の改善の重点を基に、本校での各教科・領域の授業改善を図る取組を考え、実践をしている。また、年間通算25本、県の指導主事や大分大学の教員を招聘し、授業等について指導・助言をもらっている。
- 全国学力学習状況調査の結果を、全国の国立小学校と比較し、目標値等を定めている。結果の公表後、指導教諭の分析を基に、継続して取り組むこと・授業改善が必要なことを全教職員で共通理解した後に、実際の問題を全員で解いて日々の授業改善につなげている。
- 内容ベースでなく、資質・能力ベースで編成したカリキュラムをもとに授業を展開している。年間通してその見直し（カリキュラム・マネジメント）を行い、教科横断的に指導事項を関連させて効率よく指導している。また、単元を通して付けるべき資質・能力や学習内容を捉えて授業を進めている。

4 全校で取り組んでいる「外国語」「生活・総合的な学習の時間」の知見を、他教科にいかす

○外国語科や外国語活動、総合的な学習の時間など、目的意識や相手意識を明確にした単元構想を確実に行っている。総合的な学習の時間における探究サイクルを、各教科の単元構想に活用している。

5 どの教科においても日常的に情報を活用した言語活動に取り組む

- 研究テーマに「自己調整学習」を位置づけ、日常的に「自ら学ぶ」を意識した授業を行っている。
- 自分の考えだけでなく、友達の考えを説明する場（対話的学び）を多く設けている。
- 国語で出題されたような資料をもとに自分の考えをまとめたり発表したりする学習を、各教科だけでなく、特別活動や総合的な学習の時間において日常的に取り組んでいる。

大分大学教育学部附属小学校 授業観察シート

令和7年度

日時	令和7年6月3日(火)	学年	年 組	授業者	教科等	総合	指導教諭	梅木 崇裕
研究テーマ	グローバルリーダーに求められるエージェンシーの育成 ～自己調整学習を通して～							
	新大分スタンダードの視点	重点選択 A1つ B2つ	評価の観点例			自己 評価 0.5刻み	指導 教諭 0.5刻み	主に重点選択に対する指導助言(指導教諭等)
A 授業 構 想	評価規準		・評価規準は学習指導要領を踏まえて設定できているか。 ・具体的な子どもの姿で評価規準を設定しているか。 ・本時のねらいは適切に設定できているか。				3.5	○4年3組の願いを学級全体で共有することで本時の活動で大切にしたいポイントの共通性を持たせた。 ○今後の授業展開のもととなる材料を事前に自分たちで話し合っておくことはとても重要である。 ○みんなで納得解をつくるために「人と意見を区別する」「バチバチバチ」「言いまくる」など心がけることや相手に説得するために大切なことを最初に全体で共有したことが、本時の活動を児童が具体的に把握することができ効果的であった。勝ち負けでなく、みんなで納得解をつくり出す展開は、目的意識や相手意識を持ちながらの取組で魅力的であった。
	単元構想 教科横断的視点 教材開発		・他教科との関連を意識した単元構想をしているか。 ・他教科で付けた力が発揮される展開になっているか。 ・1人1台端末を積極的に活用しようとしているか。				3.5	○仲間を説得するために根拠を持ち、一生懸命説明し合う本気の姿が見られ、総合的な学習の時間を自分たちで創ろうとする意欲を感じた。 ○ネームプレートを黒板に掲示することで、自分の立場が明らかになり、より自分事として意見を話したり聞いたりすることができた。
	問題解決的な展開	○	・学習の課題は単元全体を見通しているか。 ・日常生活や既習事項との関連など子どもの学ぶ意欲を引き出すものであるか。 ・過度な困難さや必然性が有り、達成感や成就感を得られる展開であるか。 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元の指導計画を作成しているか。			3	3.5	○スケールチャートの活用は、自分のこだわりや迷いなど今の気持ちや考えを可視化でき、自分のための納得解をつくるためのメタ認知につながった。 ○「どうすれば相手に伝わるのか」を考えて、仲間を説得するための情報を積極的に集め、より効果が高い根拠となる情報を選択していた。 ○マトリクス表を自分で作成して考えている児童がいた。3つの案について視点を持って整理・分析できていたので、全体で絞り込んでいくための手立てとして有効である。
B 授業 展 開	めあて 課題		・めあては子どもと共有されており、見れば本時に何をすることが分かるか。 ・必然性や解決に向けての見通し、視点、手立て、条件等が具体的であるか。 ・課題や発問は焦点化されており、本時のねらいに迫るものであるか。				3.5	○全体での意見交換でも、自分の立場をはっきりさせながら、「Hip Hop」「福沢諭吉」「食ロス」のよさを三つの視点「相手の新発見」「4の3のよさ」「力を磨ける」を意識して、アピールし合うことができた。 ・「Hip Hop」「福沢諭吉」「食ロス」のそれぞれにより特徴があるので絞り込みが難しい。三つの視点「相手の新発見」「4の3のよさ」「力を磨ける」について、バランスよいもの、視点に優先順位をつけるなどをすると絞り込みやすいと感じた。若干、児童が話している内容に偏りがあつたように感じた。
	まとめ 振り返り		・課題に対応した適切なまとめとなっているか。 ・習得した学びを振り返ったり、次への学びを意識したりできる内容になっているか。 ・振り返りの視点を与えているか。				3.5	・納得解をつくっていくためには、折り合いも必要。採用にならなかった児童の思いもどこかで汲んであげられるといいと思う。
	時間配分設定 ファシリテーション		・学習過程における時間配分は適当か。 ・教師がしゃべりすぎているか。動線や声かけ等は意図的か。				3	
	板書 教材・教具		・論理的に思考できるように比較や関係付け等の工夫をしているか。 ・特別な支援が必要な子どもへの支援を工夫しているか。 ・ICT(1人1台端末を含む)やホワイトボード、掲示物等の教材・教具を効果的に活用しているか。				3.5	
	きめ細かな指導	○	・習熟の程度を掴むための工夫をしているか。 ・特別な支援が必要な子どもへの支援を工夫しているか。 ・C評価の子どもを中心に子どもの思考や困りなどを適切に予測、具体的な支援をしているか。 ・個別最適な学び、協働的な学びを授業作りの視点に入れているか。			3	3	
	自己存在 自己決定 自己表現	○	・子どもの思考する時間を確保しているか。 ・子ども自身で決定する場を設定しているか。 ・子どもの困りや気づきなどの思考の流れを生かしたり関連付けたりしているか。				3	3.5
	共感的人間関係		・お互いの意見を聞こうとする場や信頼関係を築いているか。 ・自分の意見を言いたくなる工夫や仕掛けをしているか。 ・ペア学習やグループ学習の目的や内容は適切か。					3.5
評価	自己評価区分	評価平均	学びや振り返り・更なる授業改善に向けて(授業者)					
4	十分満足できる	3.40	互いの意見を出し合い、納得解を作っていく授業展開について、主に「話し合いの授業」「自己調整学習」の観点から、学びを深めることができた。4の3の「こんな総合的な学習の時間をつくりたい」「こんな力を付けたい」という集団としての願いを振り返ることや、「人と意見を区別する」などの話し合いで大切なポイントを確認したり、価値づけたりすること、話し合いの視点に常に立ち戻りながら議論を進めていくことなど、願いやポイント、視点を共有しながら話し合いの土台をつくっていくことの重要性を改めて感じた。また、ネームプレートで自分の立場を位置づけたり、ロイロノートのスケールチャートで自分の気持ちを動作化したりと、考えを可視化することで、自分の考えの変化をメタ認知したり、互いの考えの違いを認め合いながら話し合ったりすることができることを実感した。今後は、納得解に向けて折り合いを付けていく技能や考え方を指導していく必要性を感じた。これからの学習で指導していきたい。					
3	満足できる							
2	標準である	自己評価						
1	やや不十分である	3.00						

